

手術や薬物療法に頼らない

最新の
ひざ
治療

再生因子注入療法
リペアニーズ



株式会社 同仁がん免疫研究所

〒862-0967 熊本県熊本市南区流通団地1-44-2
<http://repairneeds.com/>



●お問い合わせは

TEL 0120-350-552

痛みつづける そのひざ、 手術する前に まだできることが あります。



あなたは一日何歩、歩きますか？

趣味の旅行、買い物にスポーツ。好きな時に、好きな場所へ行く喜び。

けれど加齢とともに足は弱り続け、耐えがたい痛みや変形により、

普通に歩く事すら難しくなる場合があります。

痛みを耐えるか、対処療法で苦痛を和らげるか、手術を決断するか。

悩み続ける方々のために、手術に頼らず痛み軽減、

変形修復を目指す新たな治療法があります。

一度きりの人生、最後まで自分の足で歩くために。

再生因子注入療法 リペアニーズ

目次

ひざでこんなお悩みありませんか？.....	4
再生因子注入療法リペアニーズとは.....	5
再生因子注入療法の特長.....	6
喜びの声.....	8
治療について.....	9
よくあるご質問.....	10
細胞加工センターについて.....	11

ひざでこんな お悩みは ありませんか？

- ひざが曲げにくく、正座ができない。
- 床に座わって足をまっすぐ伸ばせない。
- ひざの内側を押すと痛みがある。
- 階段の上り下りが痛くてたまらない。
- 歩行開始時や立ち上がった時に鈍痛がある。
- ひざが重く、だるい感じがある。
- その他、ひざに何か違和感がある。



その症状を放っておくと、
いずれ正常に歩けなくなる可能性があります。

関節は加齢とともに弱っていきます。完全に變形した時や手術を受けた場合など、以前と同じような生活を送ることが難しくなるケースがあります。そのため早期治療と日ごろの予防が重要なのですが、治療の判断が遅れて手術しか残されていない、といった状況になる方も少なくありません。

**加齢や運動で變形・損傷したひざ関節を
入院や手術をせずに、治療を促す方法があります。**

自己治療力を活性化させて、 自然な形でひざを再生する

再生因子注入療法

リペアニーズとは？

人が本来持っている自己治療力に着目し、患者様から採取した血液から『傷ついた組織を治療する力=再生因子』を抽出。患部に直接注入することで、ひざや肘といった関節の自己治療力を高めることを目指す最新の再生医療です。



リペアニーズをオススメする方

- ひざの手術をしたくない。
- 仕事や趣味で、安静に過ごすことが難しい。
- ヒアルロン酸等の保存療法では満足できない。
- 頻繁に通院するのをやめたい。

リペアニーズが適用する症例※

変性疾患	炎症性疾患	外傷
脊椎脊髄疾患	脊椎脊髄疾患 膝蓋腱炎 足底筋膜炎 テニス肘、ゴルフ肘	テニス肘、ゴルフ肘 靭帯損傷 腱板損傷 肉離れ

※上記以外の症例にも効果が期待されます。
詳しくはリペアニーズ取扱医医療機関まで、お訊ねください。

再生因子注入療法の特長

リペアニーズは
なぜ効果があるのか？

秘密は5つの“再生因子”



再生因子3つの作用

① 抗炎症作用

炎症を抑える働きを持つ再生因子が含まれています。一般的に炎症を抑えることでつらい痛みの軽減・抑制に効果があるとされています。

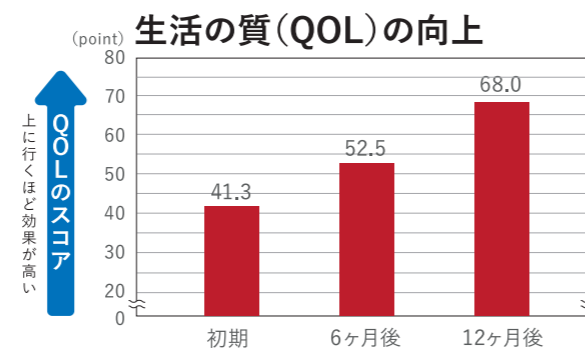
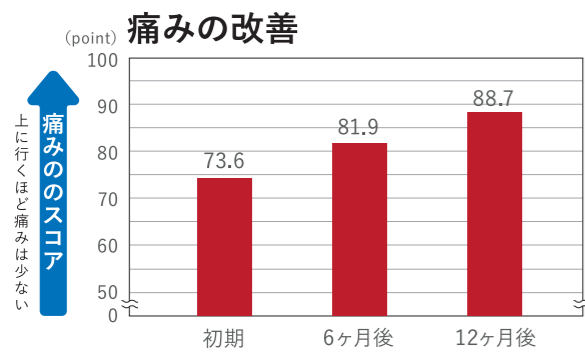
② 疾患の治癒を促進

患部の修復に必要な細胞を呼び寄せ、自己治癒力を活性化させます。自己治癒力を利用するため、自然な形で治癒を促すことが期待できます。

③ ヒアルロン酸やコラーゲンの産生を促進

細胞分裂を活性化させ、自己治癒力を一時的に高めます。その際、骨や血管を作るために欠かせないヒアルロン酸やコラーゲンといった成分の産生を促します。

再生医療"PRP療法"はひざ治療に一定の効果が見られています。



変形性膝関節症の患者様50名にPRPを月1回、計2回投与後に評価シートによるアンケートを行い、効果を点数で測定 (KOOS評価基準による測定。点数が高いほど効果の高さを示す)

Sports Health. 2012; 4(2):162-172. より改変

リペアニーズはPRP療法と比較し、より安全で効果的な治療法です。^{※1}

リペアニーズ (一般的なPRP療法との比較)^{※2}

療法名	リペアニーズ	PRP療法
投与回数	1回	1回~4回程度
再生因子量	★★(PRP療法の2倍以上)	★
持続効果 ^{※3} ^{※4}	6ヶ月~12ヶ月	(~4ヶ月)
注射後の痛み ^{※5}	少ない	やや痛みあり

※1 PRPをさらに濃縮活性化。細胞化した高濃度の再生因子を凍結・乾燥をせずに使用しています。

※2 再生因子(又はPRP)を用いた様々な治療を基に評価。

Am J Sports Med. 2011;39(10):2135-40. Am J Sports Med. 2018;46(1):171-180.

J Orthop Res. 2011;29(9):1320-6. J Orthop Surg Res. 2017;12(16).

※3 痛みの軽減が持続する程度

※4 効果には個人差があります。

※5 無細胞化しているため、細胞による痛みがありません。

5年間悩まされたひざの痛みから解放されました。
今は朝の散歩が何よりの楽しみです。(76歳 女性)

70歳を超えた辺りから階段の上り下りや立ち上がる時に右ひざに激痛が出始め、ヒアルロン酸とステロイドを投与しましたが特に効果がありませんでした。リペアニーズ投与した所、1度目の投与はヒアルロン酸よりはマシかな?といった程度でしたが、2度目の投与から明らかに痛みが軽減され、3度目でほとんど痛みは消え、杖なしで歩けるまでになりました。



年々悪くなっていたひざの状態が改善され、
痛みやこわばりが無くなりました。(64歳 男性)

若い時にひざに大怪我を負って以来、少し無理をするとすぐに痛みが出る状態でしたが、定年退職後から安静にしているにもかかわらず激しい痛みが続くようになりました。人口関節手術を検討していましたが、リペアニーズを薦められて投与した所、慢性的な痛みは無くなり、さらにひざのこわばりもほとんど気にならなくなったため、以前は不安のあった車の運転も今では難なくこなせるようになりました。



リペアニーズのメリット

 入院なしで治療可能

リペアニーズの治療はまず採血を行い、後日再生因子を患部へ注射して終了です。

副作用が少ない 

患者様ご自身の血液を利用するため、薬物療法と比べ副作用はほとんどありません。(一般的な注射と同様の、一時的な痛み等の副作用はあります)

 長い持続期間

リペアニーズはヒアルロン酸などの保存療法と異なり、関節疾患に対して、自己治癒力を高める療法です。そのため長期間にわたる治療効果が期待できます。

何度でも治療可能 

体にやさしい療法のため、何度でも治療を受けることが可能です。

治療は全国の
取扱い医療機関で行います。

リペアニーズの取扱い医療機関については
下記URLか、もしくはQRコードからご確認ください。
repairneeds.com



治療費

1投与: ¥98,000 (税抜)

※医療機関によってその他、初診料や検査費がかかる場合があります。

～治療の流れ～



① 受診

治療を希望するクリニックで受診します。



② 採血

治療のスケジュールを決め、クリニックで採血をします。その後加工センターで血液からリペアニーズの製造が行われます。



③ 投与

後日クリニックを訪れ、リペアニーズを患部に投与します。



Q ヒアルロン酸注射との違いはなんですか？

リペアニーズには痛みの軽減、症状を回復させる効果が期待できます。

ヒアルロン酸はひざの軟骨を保護する作用があり、痛みの軽減などは期待できますが、軟骨の修復作用はないため、症状は日増しに悪化してしまいます。リペアニーズはひざの修復を促すため、痛みの軽減のみならず、症状の進行を食い止める効果が期待できます。

Q 効果はどのくらい持ちますか？

個人差はありますが、保存療法と比べ、長期的な効果が期待されます。

大体1週間から3ヶ月程度で傷ついた組織の修復が始まり、炎症や痛み軽減などの効果が現れます。ひざの状態によって個人差はありますが、6ヶ月以上効果を実感された方も多くいらっしゃいます。

Q 治療後は安静が必要ですか？

治療直後からいつも通りの生活を送ることができます。

手術と違って入院の必要がなく、注射のみで終わるため、治療直後からいつも通りの生活を送ることができます。絶対安静で過ごすよりも適度に動いた方が、治療部位が硬くならず柔軟性を保つことができます。

Q 安全性・副作用は？

拒絶反応や副作用が少なく、安全基準を満たした、安心・安全な療法です。

この療法は、ご自身の血液を用いますので拒絶反応や副作用が少なく、安全基準を満たした『特定細胞加工物製造許可施設(厚生局許可)』で製造しますので、安心・安全な療法です。ただし、注射による一般的な副作用(痛み、赤み、腫れなど)が起こる可能性はあります。

Q 治療はどこで受けられますか？

提携のクリニックで治療可能です。

患者様より提携のクリニックへご予約を入れていただき、診察→治療の流れとなります。治療可能な取扱い医療機関については弊社までお電話をしていただくか、もしくはWEBサイトからお問合せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

～培養施設の安全性～

リペアニーズの製造を行う細胞加工センターは、厳格な基準を満たした細胞培養施設CPC(Cell Processing Center)を国内設置しており、極めて高度な衛生環境の中で細胞の加工を行っています。徹底した安全管理体制を整えており、施設は厚生労働省から認可を受けています。



〈注意事項〉 ※下記に該当する方は、治療をお受けできない可能性があります。

●悪性腫瘍を患っている ●ステロイド剤、抗がん剤、生物学的製剤または免疫抑制剤を使用・服用している ●心疾患、肺疾患、肝疾患、腎疾患、出血傾向、血液疾患、コントロール不良な糖尿病および高血圧症等を有する ●血液感染症の既往歴がある ●患部に細菌感染を伴っている ●薬剤過敏症の既往歴がある ●検査で血小板数の異常があった ●これまでに変形性ひざ関節症の治療で PRP 療法などの類似の療法を受けた